

地方運輸局の取組

首長等訪問

● 自治体

神奈川県湯河原町

○鍛冶屋（幕山公園）エリア（「交通空白」地区）

（検討中×速やかな対応が必要）

他7地区（「交通空白」地区・要モニタリング地区）

計 人口5.67千人、面積約6.4km²● 訪問日

令和7年8月25日

● 訪問時の課題認識

- 2・3月の「梅の宴」期間中の臨時直行バスが乗合バス事業者の運転者不足等により廃止。R7は町職員が無償運送で対応。R8は事業者による臨時直行バスを復活したい

- バス事業者の運転者不足対策として、退職予定の消防職員（大型免許あり）の活用ができないかと考えている

事務打合せ

● 内容

①イベント輸送について

- 支局が課題解決に向けた湯河原町からの相談に対応
- 自動車交通部がバス事業者からの相談に対応

②運転者不足対策・消防職員の活用

- 自動車交通部がバス事業者に対し、運転者不足の現状と確保に向けた取組、町からの提案についてヒアリングを実施

● 打合せ等実施日湯河原町： 令和7年9月22日～ メールでの質問対応
令和7年10月22日 打合せ

(地域公共交通会議に合わせて)

バス事業者①：令和7年8月26日

バス事業者②：令和7年9月8日

● 課題解決へ向けた提案等

(イベント輸送について)

- 貸切バス事業者による乗合輸送（道路運送法21条）活用に向けた検討を事業者と進める

(運転者不足・消防職員の活用について)

- 10月1日に地元バス事業者が運賃改定を実施。労働条件改善に繋げるよう指導
- 消防職員の活用に関する事業者と町の双方の要望を橋渡し・他自治体の事例を紹介

方針

● 自治体

- R8のイベントでの貸切バス事業者による乗合輸送の実施
- 消防職員のバス運転者としての活用について事業者と調整中

● 運輸局

- 現在、イベント輸送について許可申請の審査中。
- 運転者不足対策・消防職員の活用について、町と事業者の橋渡しを行うなど伴走支援を継続的に実施する

首長等訪問



● 自治体

愛知県東郷町南西部地区（「交通空白」地区）
人口22.6千人、面積6.75km²
(検討中×集中対策期間に対応)

● 訪問日

令和7年10月31日

● 訪問時の課題認識

- 町内の路線再編に伴い、当該地区におけるコミバスの運行本数が減少し、利便性が低下。
- 自動車学校の送迎バスへの町民の混乗等、地域の輸送資源活用を始めているが、町民の不満の声の解消には至っていない。

事務打合せ



コミバス「じゅんかい君」

● 内容

- 自治体担当者と運輸局担当者にて打合せを実施
自治体：具体的な課題と今後の対応案を共有
運輸局：制度面の助言と補助事業の方向性を説明

● 課題解決へ向けた提案

- コミバスを補完するものとして、ボランティア輸送を提案し、制度上の枠組み等を紹介。
- 自治体や事業者の壁を超えた、共同化・協業化の更なる推進について説明。

自治体の取組



住民懇談会の様子

- 町長自ら各地の住民懇談会へ参加。
地域の生の声を直接聞き取り。
- 今年度より「公共交通対策室」を立ち上げ、人員を拡充し体制強化。

方針

自治体

- 計画改定にあわせ、コミバスの運行本数やルートを見直し予定
- 既存の自治会をベースとするボランティア輸送の実施を検討

運輸局

- 地域公共交通計画改定（現計画満了R9.3）も見据え、財政支援の活用や事務打合せ等の伴走支援を継続

首長訪問・事務打合せ



R7.12.12 首長訪問

● 自治体

奈良県平群町の6地区
(要モニタリング地区)
人口0.7千人、面積0.2km²

● 訪問日

令和7年9月16日 事務打合せ
令和7年11月19日 副町長来局時に面談
令和7年12月12日 首長訪問

● 訪問時の課題認識

- ・高齢者の移動手段不足
- ・大型車両が運行できない山間地の交通確保
- ・遠距離通学や部活動の地域移行による送迎負担
- ・医療センター移転後の通院交通

方針



● 自治体

- ・平群町、交通関係者、総合型地域スポーツクラブ、教育委員会、社会福祉協議会、商工会等が連携した輸送資源のフル活用について、さらなる拡大を検討
- ・自治体間の広域連携の可能性についても今後検討

● 運輸局

- ・財政支援の活用や今後の広域連携に向けた調整等の伴走支援を継続的に実施する

輸送資源のフル活用

- ・総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」、平群町、バス事業者（奈良交通グループエヌシーバス）、商工会青年部（※）、長寿会連合会（※）が連携し、区域運行型乗合交通「くまがしmobi」を令和6年度から運行。※令和7年度より拡充
- ・部活動の地域移行に伴い、生徒の移動手段を確保するため、一部の曜日において、中学生の学校部活動や地域クラブ活動への送迎などを対象とした実証運行を開始。
- ・今後は、対象となる部活動や運行日の拡充を図るとともに、路線バスや町のコミュニティバス等との連携・調整、通院需要への対応、高齢者の外出支援に向けた利用促進、近隣自治体との連携など、輸送資源を最大限活用した拡充を検討。



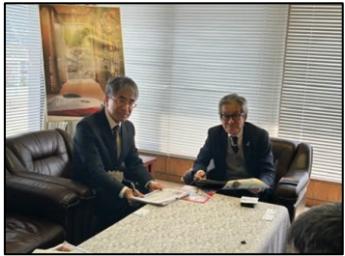
首長等訪問・事務打合せ等

- 「交通空白」地区（取組「実施中」の地区を除く。）、要モニタリング地区を抱えるすべての市町村の担当者に接触し、課題認識と今後の方針について確認
- 市町村担当者への確認結果を踏まえ、必要に応じ、首長等訪問を順次実施※し、地域の課題について意見交換
※ 佐賀県嬉野市、長崎県佐世保市等の33市町村の首長等を訪問（R7.12.15時点）
- 観光の移動手段確保についても自治体へヒアリングを順次実施

【主な課題認識】

- ✓ 地域住民に加えて観光客の移動手段の確保
- ✓ 財政負担を踏まえたコミュニティ交通のあり方

佐賀県嬉野市（11月26日）▶



取組事例（長崎県佐世保市）

- 佐世保市の離島である黒島は、約40年前から公共交通機関がなく、少子高齢化・人口減少が進展
- 加えて、観光スポットが島内に点在しており、地域住民と観光客の移動手段の確保が課題
- R7.11より、運輸局の助言を踏まえ、国交省の補助を活用し、公共ライドシェアの導入に向けた実証運行を実施（～R8.1）



【実証運行の概要】

- ・運行主体：黒島観光協会
- ・運賃：無料
- ・予約方法：電話又はWEB

（出典：佐世保市ホームページ）

取組事例（熊本県人吉市）

- 鹿児島空港からの高速バスの減便により、人吉市～鹿児島空港における地域住民や観光客の移動手段の確保が課題
- 運輸局の助言を踏まえ、国交省の補助を活用し、人吉市内・道の駅えびのと鹿児島空港を結ぶ直行の乗合バスの実証運行を実施（R6.9～）
- 実証運行を踏まえた必要な見直しをした上でR7.8より、本格運行を開始し、利用者は順調に増加

【運行の概要】

- ・運行主体：つばめ交通（株）
- ・運賃：
 - 人吉市内 ⇄ 鹿児島空港 … 3000円
 - 道の駅えびの ⇄ 鹿児島空港 … 2500円

- ・予約方法：
 - WEB（一部電話予約可）
 - （完全予約制）



市町村向け研修会

- 各県とも連携し、市町村向け研修会等において、法制度や補助メニューの活用について情報発信



宮崎県研修



福岡県研修